

## 日誌 (昭和36年9月)

## 【国内】

- 1日 ○本行、外国為替資金貸付制度を実施(前月号要録参照)  
○政府、輸出標準決済条件を2か月延長(前月号要録参照)
- 18日 ○政府、輸入担保制度を改正(要録参照)
- 26日 ○政府、国際収支改善策および貿易自由化促進計画を決定(要録参照)
- 27日 ○第39臨時国会召集
- 29日 ○本行、公定歩合を日歩1厘引上げ(ただし、輸出貿易手形は据置)、高率適用制度を強化(要録参照)

照)

- 外国為替銀行、米ドル建輸入ユーザンス金利を年利 $1\frac{1}{2}\%$ 引下げ(新レート……3か月もの $1\frac{1}{2}\%$ 付5.375%以上、同サービス5.125%以上、3か月もの $1\frac{1}{2}\%$ なし5.625%以上、同サービス5.25%以上、4か月ものは3か月もの各 $1\frac{1}{2}\%$ 高)

- 29日 ○政府、昭和36年度財政投融资計画の改訂を閣議決定(要録参照)
- 30日 ○政府、昭和36年度下期外貨予算を決定(要録参照)

## 【海外】

- 1日 ○中立諸国首脳会議ベオグラードにて開催  
○EEC域内労働者移動の自由化第1次措置実施  
○西ドイツ・ブンデスバンク、支払準備率引下げ
- 4日 ○ケネディ米大統領、対外援助支出権限法案に署名  
○EEC蔵相会議、IMF問題などについて討議  
○インドネシア政府、インフレ対策として国民に対し当座勘定を通ずる支払の一般化を要望
- 5日 ○豪州、IMFとのスタンド・バイ取決め(1億ドル)を取り消す
- 6日 ○ネパール王国、IMFおよび世界銀行に加盟
- 8日 ○マニュファクチャラーズ・トラスト・カンパニーおよびハノーバー・バンク両行の合併による新銀行マニュファクチャラーズ・ハノーバー・トラスト・カンパニー成立
- 11日 ○全米自動車労組、ゼネラル・モーターズ組合員に対し、ストライキを指令
- 12日 ○英連邦蔵相会議アクラにて開催、EEC加盟問題などを討議(14日まで)
- 17日 ○西ドイツ総選挙

- 18日 ○IMF、世界銀行、国際開発公社、国際金融公社の1961年合同年次総会、ウィーンにて開催(22日まで)  
○パキスタン、茶の輸出税を引下げ(1ポンド当り38パイサから25パイサへ)
- 20日 ○ゼネラル・モーターズの争議解決
- 25日 ○GATT理事会、ジュネーブにて開催(10月3日まで)
- 26日 ○ギリシャとEECとの連合協定発効  
○エカフェ第1回アジア経済計画官会議、ニューデリーで開催(10月3日まで)
- 27日 ○米第87議会第1会期終了(第2会期明年1月10日から開会)  
○EEC閣僚理事会、英国・デンマークとのEEC加盟交渉開始を決定
- 30日 ○ケネディ米大統領、対外援助支出法案に署名  
○OECD(経済協力開発機構)発足  
○インド政府、本年下期(1961年10月~62年3月)輸入政策発表